

## 京都府北部地域・大学連携の新たな取組について

【関係省庁】文部科学省

京都府北部地域は、人口の減少・高齢化、産業の衰退や雇用の減少などの深刻な課題を抱えているが、府南部に比べて極端に大学の立地が少なく、多くの大学を巻き込んで地域課題解決を推進していく基盤が必要な状況にあります。

つきましては、京都府北部地域においても、大学の資源を活かした地域連携を行う取組が持続的に実施できるよう、**京都府北部地域・大学連携機構（仮称）の取組**に対し、予算を重点配分いただきますようお願いいたします。

### <文部科学省の概算要求>

#### ■地域・社会の求める人材を養成する大学等連携事業 37億円

国公立大学の枠を超え、大学等間のコンソーシアムを形成し、自治体や企業、NPO、専門学校等と協定等に基づき連携し、地域の様々な資源を活用しながら、社会人をはじめとする多様な学生を対象に、履修証明制度の活用を始め、地域に根ざした雇用や社会的自立に結びつく教育プログラムを開発・提供する取組を支援する。



### <京都府からの要望>

大学立地の極めて少ない京都府北部において、大学と地域社会との組織的・安定的な連携や地域公共人材の育成を進めるため、**京都府北部地域・大学連携機構（仮称）の取組に重点的に予算配分**してください。

### <京都府の具体的な取組>

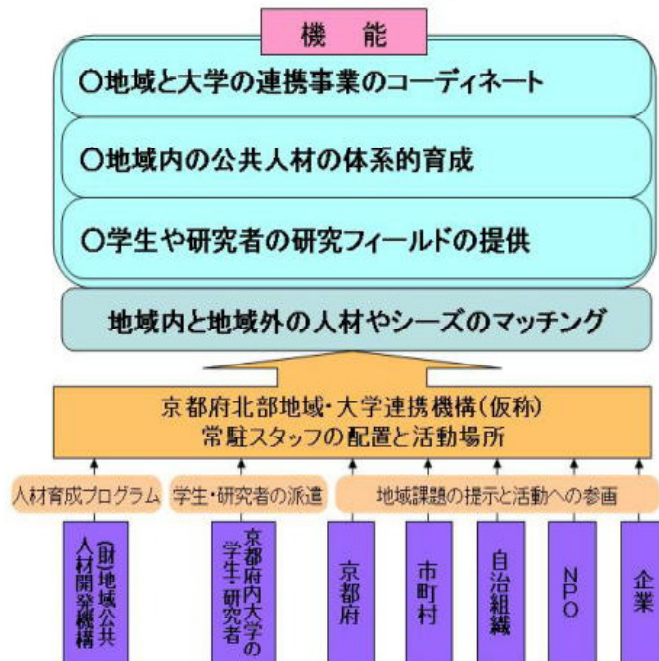
#### ■京都府北部地域・大学連携機構（仮称）

複数の大学が組織を超えて連携するとともに、自治体や地域団体等とプラットフォームを形成し、地域課題の発見・解決及び地域社会の公共的活動に関わる人材の育成を実践する**京都府北部地域・大学連携機構（仮称）の取組を推進**します。

**京都府の現状・課題等**

- オール京都で「地域公共人材」を育て活用するため、京都府内の8つの公共政策系学部・大学院を持つ大学が連携して、「地域公共政策士」資格を付与する「地域資格認定制度」と教育・研修プログラムの共同開発に取り組んでいる。(20～22年度文部科学省補助金活用)
- この取組を発展させ、府内の大学、府北部市町村、一般社団法人地域公共人材開発機構、地域団体等が参画して、戦略的連携による地域再生コンソーシアムを形成することを目指している。
- 現在、府内の大学、京都府、府北部5市2町、一般社団法人地域公共人材開発機構、地域団体等が参画して研究会を立ち上げ、市町ワーキングや大学ワーキングの開催や、5市2町の現地ヒアリングを実施し、具体的な組織構築に向けて準備を進めている。
- 京都府北部地域・大学連携機構（仮称）の機能として、地域と大学との連携事業のコーディネートなどの地域課題解決の推進、公共的・地域的活動に関わる人材の育成、学生や研究者の研究フィールドの提供など大学の研究・教育機能を有することを目指している。

**京都府北部地域・大学連携機構(仮称)イメージ**



**【京都府の担当部局】**

政策企画部 調整課 075-414-4344